

平成 23 年度 第 4 回 天草地域自立支援協議会 定例会報告

1. 日 時：平成 23 年 7 月 15 日(金) 14 時 00 分～15 時 30 分

2. 場 所：上天草市役所 3 階 会議室

出席者：ニッケンター大矢野（澤江）、大矢野町ヘルパーステーション（木下）、上天草市社協（西川）、星光園（高橋）、グリーン（荒木）、本渡通勤寮（坂本）、上天草市（佐々木）、天草市（大西、池田）

3. 内 容：

議題

（１）天草地域自立支援協議会 定例会について

○資料 1，2 ページで説明

今回は、居宅介護事業所に集まっていた日頃の支援の中の課題等をそれぞれ出し合って情報の共有を図る。

（２）個別のケースについて

○それぞれの事業所の紹介及び現状について報告

・ニッケンター大矢野…身体障がい者の方 1 人、仮退院からの利用で空腹感の訴えが多い。（糖尿病もあり）

40 才女性（精神）、子供（小 4）

病院のソーシャルワーカー、看護師の勧めでヘルパー利用、家事ができない、仕事をしないと考えている。定期的に病院から訪問があり、連携を取っている。

→病院と連携が取れているので、相談をしながら本人ができること、先ずやらなければならないことをやらせる。最終的に就職と段階的に。

・大矢野町ヘルパーステーション…利用者は精神の方 3 人。（2 名について）

一人は 35 才（3 回／週）、こだわりがあり、対応には気を付けている。料理 1 種類（八宝菜）のみ要求される。

一人の方は 76 才（2 回／週）、料理をたくさん作らされる。季節的に傷むので注意はするが。

相談先がわからない。家族・主治医？

→相談支援専門員の活用を、同行訪問も可能である。

・上天草市社協… 3 人家族の母親（子ども 2 人）、2 年前に両親が入院したことがきっかけで統合失調症を発症（本人、病気の受け入れなし、死にたいと訴え）電話を頻繁にかける。娘にも（学校へも）かける。娘は家のこともやっており、精神的に参っている。母親は熊本市内の親戚家に一時的に行っており、そこから市内のクリニックへ受診。入院はしないと言っている。母親の入院（親戚の受け入れもいつまで続くか分からない）、娘さん

の状態も心配である。

→母親の統合失調症の治療を進めるのが先、不安を軽減させる。今の状況を知っている人（キーパーソン）と一緒に受診する。娘さんも早めに受診をした方がいいと思われる。相談支援専門員・保健師が介入した方がいい（訪問等）と思われる。

（３）その他

事務局から

今後とも同様の会議を開き、皆さんからの声を聴かせていただきたい。何かあれば、いつでも福祉課又は、各相談支援事業所へ連絡をいただきたい。（相談支援のパンフレットを配布）